

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人

札幌市福祉生活支援センター

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

社会の窓口プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現代の社会は、就職にあたって、勉学においても、インターネット環境や office ツールを有していることを、当然のように前提としています。これらがなければ、時にはスタートラインにすら立たせてもらえません。持てる者だけがスタートラインに立てる社会を認めたくはありませんが、これが現実の姿です。

入居児童だけがスタートラインに立てないのは、余りにも公平感に欠けます。

せめてこの点だけでも何とか機会平等を実現し、就職にあたって、勉学においても、世間とスタートラインを一致させられないかと思いました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

自立援助ホーム“たんぼぼ苑”のパソコン並びに主要ソフトの利用環境を整え、以って入居児童の社会参加を円滑に進める。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

学校に通学することも困難だった児童や学習に問題のある児童に、パソコンを扱えるようになり将来的に仕事にも活かせるようにするため、職員やボランティアスタッフが個々の児童の能力を念頭に置きながら、児童の生活に合わせ学業・アルバイト合間の時間に講習を実施し始めました。

児童は年齢的にも若いことから、学力に関わらず覚えも早くオフィスソフトの資格取得を目標にする児童もいます。職員が直接指導することで今までとは違った形で児童との関わり方も作ることができ、日常では無いようなコミュニケーションも取れるようになってきています。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

新しくパソコンを導入することで、児童にとって社会へ出ていく前にわずかでも技術を身に付けておくことが、この事業の目的でしたが、職員との新しいコミュニケーションが生まれるという二次的な効果を得ることができています。物品購入事業であることから、活用の仕方が大きな課題と感じていましたが、児童が新しいパソコンを使えることの喜びや楽しみを実感していることを、児童に代わって真如苑様に深く感謝申し上げます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり

購入物品①



購入物品②



購入物品③



使用風景

